

2010～2011

沼田ロータリークラブ会報

地域を育み、大陸をつなぐ
BUILDING COMMUNITY BRIDGING CONTINENTS

2010～2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 松野正一 幹事 津久井功 会報編集 綿貫利彦
例会場及事務所 沼田市東原新町1540 利根郡信用金庫本店内 TEL 0278-24-1177

第2634回 例会報告

2011年2月15日

記録 矢嶋照久

例会予告

2/24	沼田中央合同例会 於ベラ・ヴィータ
3/1	未定

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2011年2月24日発行 №31

都市間交流の現状の今後

沼田市総務部交流推進課長 伊藤重雄 先生 沼田市総務部交流推進係長 中村一喜 先生



■卓話者紹介

矢嶋照久君

沼田市の出前講座でお願いいたしました。総務部交流推進課より、課長兼市民活動センター所長兼協働推進係長の伊藤重雄先生です。昭和51年4月入職以来各課を移り、昨年4月より同課長を務められています。交流推進課中村一喜係長は、昭和58年4月入職以来各課を移り、21年4月より同係長を務められています。また、伊藤課長は、音楽協会の副会長もなされ、櫛淵会長の下文化音楽活動でも活躍されています。

本日は、都市間交流の現状と今後という題で、沼田市をどうPRしているか、次年度の観光と農商工の連携による交流事業の事もお聞きできると思います。

■卓話

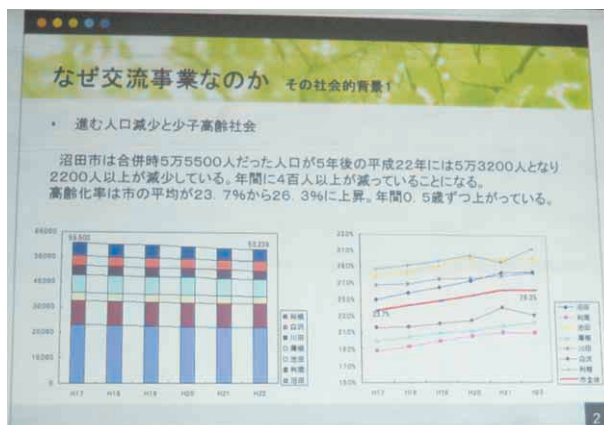


◎交流推進と協働について 伊藤重雄課長

沼田市は、都市間交流や市民協働により地域活性化を進めようとしています。交流推進は、多様性があり、上田市と利根・吾妻の12市町村による真田街道推進機構による、真田サミット・ウォーキングラリーを沼田市で開催を予定しています。また、新宿区とわらび座共同制作ミュージカル「アトム」も今年年末に公演を予定しています。

市民協働推進事業では、昨年1月より市民活動センター「ぬまたん家」を福祉センターに開設し、市民活動の拠点として利用いただき、活動を支援しています。

交流推進課は発足してまだ2年ですが、次年度観光と交流を一体化して経済的発展PRをするため、観光交流課として事業を強力に



進めていく予定です。

皆様方には多方面でご協力いただき、更なるご支援、ご指導いただきたくご案内申し上げます。

◎交流活動の現状

中村一喜係長

市の人口は、合併時約55,000、6年後の今は、53,000人で減り続け、更に高齢化は23%から26%に上りまだまだ上っています。財政状況も歳入減少し17年223億が20年203億まで減り、21年は地方交付税が増したため、214億と前年より増えましたが、厳しい状況にあります。

前の担当が街なか対策部で中心市街地活性化を担当していましたが、街なかもいかに人が来てもらえるか、魅力づくりを考えていましたが、沼田市も同様で、人口が減るなかで市外からどうしたら来ていただけるかを考え都市間交流というキーワードになり、この課を2年前に作りました。

交流人口とは、その地域に訪れる人の事で定住人口に対する概念です。人口減と高齢化社会で地方の小さい町が生き残るのには、交流人口を増やす事で活力を強めることが必要

となっています。群馬県の認知度は、最下位を北関東3県で争い、市の認知度も650位と下位です。

19年に交流居住促進協議会を商工会議所等の各種団体をお願いして作りました。互いに情報を共有化し、本市の魅力や可能性を再発見し、市外へ情報を発信して交流事業の推進により、活性化を図る事を目的としました。その中で、当課がプロモーションを行い、各団体に受け入れをお願いしています。

一つの例に、いなか体験ツアーを行いました。新宿や板橋から募集して、稲やそばを種まきから収穫、そしてそれを食べるまでを行い、ボランティア団体に受け入れと管理をお願いしました。好評でしたが、受け入れる人数に限りがあり、ボランティアの限界があります。

新宿区と昨年3月に地球環境保全のための連携に関する協定を結び、カーボンオフセット事業で5月に白沢で新宿の森を作りました。この事業は、高平公益社が無償で土地貸与する代わりに、新宿区の負担により植林し管理を行い、将来立木所有権を得られ、

CO2削減にもなる。沼田市としては、森林保全と治山治水機能の回復と環境対への貢献ができ、人々の交流推進が計れるという、両得です。

現在進めているのは、港区と二酸化炭素固定認証制度という出口効果のモデル事業です。2月9日やっと締結させる事ができました。港区では一定規模の建築物には木材を使用して、その産地に植林を行い再生するというシステムを作りました。沼田の木材や間伐材を使用してもらい、植樹をしてみどりと水源を保全していただけます。

これらの事業は、単にお願いしただけではなく、各地のイベントに行き売り込んだ成果です。22年度新宿区には9回、港区に3回、板橋区2

回行っています。日々の交流と人と人とのつながりが大切なのだと感じています。

今後の交流事業のキーワードは、環境です。水や空気がきれいであり、それら環境を互いに守りより良いものにする共通体験や学習、それらを行う事で、都市間競争でなく、都市間交流への転換。都市と地方の相互補完を行う。ないものねだりから「あるもの探し」へと発想を転換し、前向きに考える必要があります。人と人の心のかよい合い、そのための交流が大切です。人材から人財に、人が財産となります。

今年は、群馬DCがあり多くの企画を考えています。課長からもお話ししましたが皆様のご指導ご協力をお願いいたします。

例 会 報 告

■司 会 桑原伸一郎 S A A 出席委員
■ソング 四つのテスト 宮内明彦君
■来賓及び来訪ロータリアン
沼田市総務部交流推進課長 伊藤重雄様
" 係長 中村一喜様
熊本RC 松田敬五君

会長の時間

松野正一会長

12日東京で田中先生の源流セミナーが行われ、5名で出席してきました。300名位が出席され、2750地区バスターガバナーによる会員増強について話があり、田中先生による「職業奉仕の原点と近未来について」講演されました。辰巳館で講演された内容と重なる事が多かったのですが、ロータリアンが人類のリーダーを育てられるように願います。

幹事報告

津久井功幹事

◎次週例会変更

24日（木）ベラ・ヴィータ。16時～18時講演会。18時30分から懇親会

◎地区補助金申請受付け

当クラブより地区にカンボジアへの夜間ライト寄付で補助金を申請していました。補助事業として受理されました。

委員会報告

◎S A A 出席委員会

笹川正之委員

会 員 数	会場出席	メ ー ク	出 席 率
56名	34名	13名	85.45%

◎ニコニコ委員会

荒井静雄委員

・松野正一君 源流セミナーでは、横山さん

- 水石さん宮澤さん綿貫さんにお世話になり
- ・横山公一君 源流セミナーでは大変お世話になり。素晴らしいセミナーでした。地区チーム研修では、保坂地区研修委員に大変お世話になり無事終了でき感謝。
- ・宮澤孝幸君 12日源流セミナーでは皆さんにお世話になり。後から一人で車で来た綿貫さんの燃える向学心に感動！
- ・保坂充勇君 14日3回目の友の会議があり帯広から初出席の方が沼田に来たことがあり、長寿院の丸岡さんの知人でした。同級生だと言うその方も驚いていました。
- ・矢島照久君 義父の介護のため長く休みご迷惑をお掛けしました。10日に87才で天寿を全うしました。
- ・星野貴明君 この所出席が悪くてすみません。本日も早退します。
- ・ニコニコ週間 卓話に沼田市伊藤課長をお迎えして。

阿形登氏君	水石清治君	船越和夫君
綿貫利彦君	武田 寛君	峯川卓美君
櫛渕光彦君	春日政志君	割田一敏君
津久井功君	関 真一君	角田 隆君
木下 進君	荒井静雄君	西田治司君
田代経量君	前田善成君	

◎財団BOX IN

関 真一委員長

松野正一君	西田治司君	角田 隆君
宮澤孝幸君	津久井功君	武田 寛君
星野貴明君	木下 進君	櫛渕光彦君
関 真一君		